府県統廃合と文書移管

明治九年度の熊谷県分割をめぐって

芳賀 明子

はじめに
現在、全国各地で、平成の大合併といわれる市町村合併が進行して
いる。全国の史料保存機関では、合併に際して旧市町村の歴史を語る
貴重な文書が一括廃棄されてしまう。過去の合併における文書移管の
取組みを展開している。過去の合併における文書移管の状況を調査す
ることは、今後の文書保存を通じてその参考になると考えられる。
本稿では、明治九年度八月の全国的な府県統廃合により熊谷県が分割さ
れ、その武蔵国分が埼玉県に合併された際の文書移管の事例としてと
りあげ、当館、群馬県立文書館、国文学研究資料館、国立公文
書館に残る史料から、具体的な文書移管の経過、移管箇所、移管後
の文書利用、現状について明らかにし、検討を加える。

(一) 明治九年熊谷県の分割

明治初期、全国の府県の管轄はめまぐるしく変遷した。明治四年
四月、現埼玉県域には、荒川以西・熊谷以北に入間県、荒川以東に埼
玉県が設置された。その後、明治六年、群馬県令川瀬秀治が入間県
を兼務発令され、熊谷に県庁として移管することが決定したことから、
同年六月、入間県は群馬県と合併し、広大な県域をもつ熊谷県が誕生した。

(二) 熊谷県分割に伴う文書移管

熊谷県亜府県統廃合と文書移管（芳賀）

埼玉県域の変遷

明治 4年 11月

明治 6年 5月

明治 9年 8月
（二）府県事務受渡規則

明治初期、府県の長官は任期が短く、引継時に管轄が停滞することもあり、必要な書類が不備となる関係、管轄番名が不明確であるため、事務を引き継ぐことができる。特に、管轄番名の変更や、管轄の停止など、必要な書類が不備である場合に、事務受渡規則が制定されました。

（三）文書移管の準備

明治九年八月三十一日に熊谷庁が、旧群馬県庁を引き継ぐために、必要な書類を準備するための準備が行われました。これにより、旧群馬県の管轄番名が新群馬県に引き継がれ、管轄番名の変更や、管轄の停止など、必要な書類が不備である場合に、事務受渡規則が制定されました。
群馬県では、書類と演説書を早急に取締めるよう各課に指示を出し、各課毎に二人三名の事務受渡担当者を置いた。尤も、群馬県の官員は担当者以外も全員、土日を返上して準備を進めていた。史料から、慌しい状況の様子が窺われる。

史料一（群馬県行政文書）
成務規・知八四九〇

今般本県所轄之内、武蔵国、埼玉県管轄、二部有出fore付内、同県管轄武蔵地方江屬於諸書類等。明治六年七月第三百五十二番号、公達府県事務受渡規則二照準、至急取扱甲類目録ヲ作リ、演説書ヲ附スヘキモノハ、其章案ヲ取扱出可申、此事件検候事、明治九年八月廿二日、群馬県令今景雅文代理、群馬県従事井本公直

史料二（群馬県行政文書）
成務規・知八四九〇

今般管轄地方合併被印出、事務紛繁ニ付、日曜日休暇、土曜日正午十二時ヨリ之休暇当分差止メ、明廿八日ヨリ午前第八時出頭、午後二時退庁可致、尤受取渡専担当者ヲ始、各課官事務之緩急ニ応シ否期、

史料三（群馬県行政文書）
成務規・知八四九〇

今般管轄地方合併被印出、事務紛繁ニ付、日曜日休暇、土曜日正午十二時ヨリ之休暇当分差止メ、明廿八日ヨリ午前第八時出頭、午後二時退庁可致、尤受取渡専担当者ヲ始、各課官事務之緩急ニ応シ否期、

明治九年八月廿二日

群馬県令今景雅文代理、群馬県従事井本公直、群馬県令今景雅文代理、群馬県従事井本公直

旧熊谷県の組織、明治八年十一月の府県省制並事務章程に拝

府県統合及文書移管（奉文）

明治九年八月廿七日

熊谷県職員分課一覧表
明治九年四月一日改、銘松藤（家）九ニ

熊谷県職員分課一覧表
明治九年四月一日改、銘松藤（家）九ニ

熊谷県職員分課一覧表
明治九年四月一日改、銘松藤（家）九ニ

熊谷県職員分課一覧表
明治九年四月一日改、銘松藤（家）九ニ
府県統合令文書

【史料四】

【史料五】

【県制】

【県制】

【県制】

【史料四】

【府県統合令文書】

【府県統合令文書】

【府県統合令文書】
群馬県権参事根本公直殿

明治九年八月廿八日

引渡し日の八月三十日、群馬県側は埼玉県に対し、今回の書類は至要なる当務書類のみであり、演説書も当務に限った仮演説書であることを再度連絡した。十日間という短期間では引渡しのための事務処理と演説書の作成、書類の検査整理は無理であったため、これに対し、埼玉県側は史料七にあるように、引渡しの当日に承諾の回答を手渡した。

史料六

埼玉県行政文書

県都制

明治三十七年六月

明治元年五月二十日、群馬県令白根多助殿代理、長崎県令参事吉田清英代理

管轄地区所本日引渡付、在来之官員（村内中権より直渡）

府県続漢合文書管移（芳賀）

四第回目的移管（明治九年八月廿十一日演説書当務書類）

熊谷県分割の返済、十四日後の八月廿十一日に、群馬県側に照会し、土地・人民の引渡しを、第一回目の文書移管が行われたが、群馬県側からは、権参事根本公直が七名の官員を率いて埼玉県庁に来庁した。

史料八

埼玉県行政文書

県都日誌

明治三十七年六月

群馬県令白根多助殿代理、長崎県令参事吉田清英代理

管轄地区所本日引渡付、在来之官員（村内中権より直渡）
群馬県権参事根本公直殿

尚御屈可中上候也

明治九年九月一日

群馬県今根取案住彦代理

群馬県権参事根本公直殿

【史料十二】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

右大臣岩倉具視殿

内務卿大久保利通殿（各一通）

【史料十三】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

右大臣岩倉具視殿

内務卿大久保利通殿（各一通）

【史料十四】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

群馬県

【史料十五】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

群馬県

【史料十六】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

群馬県

【史料十七】
（埼玉県行政文書　県制）
明治三十七年・八月

群馬県
項目の前に規定がされており、特に御領御引渡し関係の特別手順が規定されている。御領御引渡しは、元より厳しい手順が求められており、それに従いますと、書類のエラーチェック及び役場の承認が必要とされる。したがって、御領御引渡しの計画は、事前に十分に検討し、適切な対策を講じることが重要である。
九月廿日・熊谷県管轄武蔵国分寺町三十一日既ニ土地人民民引渡相済

百三十二袋・千二百枚余ニ及ぶ煩大ニ各課ノ諸書類ヲ引渡セラレタ。別

百姓へ・書類引渡目録

群馬県管轄文書管内事務

明治九年廿日

群馬県令白根重助

一

事務公取収録

証

史料ニ二十二

群馬県行政文書

管内雑事

議二十九

群馬県令白根重助

明治九年廿日

群馬県令白根重助
演説書と各課書類

（二）演説書と各課書類

各課書類の演説書は、演説書自体に書類番号が振られて引渡し目録に載っているものと、目録には掲載されていないものがある。演説書の書き方については、「府県事務受付課事務規則」に文例があり、現在のものには従って行われている。筒条書きで記述されている場合、演説書の内容要求でみられるものであるが、引継ぎ・伝達事項をまとめた文章にしその内容を記述されているものがある。筒条書きに書類番号が記載されていない場合、筒条書きで記述されている場合、演説書の書類名や書類番号が記載されていない場合も、該当書類を特筆できる。演説書の書き方は、筒条書きで記述されている場合、演説書の内容要求でみられるものであるが、引継ぎ・伝達事項をまとめた文章にしその内容を記述されているものである。筒条書きに書類番号が記載されていない場合、筒条書きで記述されている場合、演説書の書類名や書類番号が記載されていない場合も、該当書類を特筆できる。
三

移管文書の現存状況

明治九年に発行されたこれらの入間熊谷県書類は、現在のどの程度残っているのだろうか。残念なことに、そのほとんどは廃棄され、幻の書類となっている。

明治九年に発行されたこれらの入間熊谷県書類は、現在のどの程度残っているのだろうか。残念なことに、そのほとんどは廃棄され、幻の書類となっている。

明治九年に発行されたこれらの入間熊谷県書類は、現在のどの程度残っているのだろうか。残念なことに、そのほとんどは廃棄され、幻の書類となっている。
図1
明治九年（1876年）秋に『日本書紀』『古事記』『続日本紀』『続略日本紀』の四書を改訳したが、『日本書紀』は未完で、『古事記』『続日本紀』『続略日本紀』は一部を譜に出した。後日、『日本書紀』の改訳を再開し、『古事記』『続日本紀』『続略日本紀』も完成させた。

『日本書紀』の改訳は、当時の学界の注目すべき事業であり、新旧両書を比較し、古文の解釈を工夫して、文献の真価を追求するものであった。また、『続日本紀』『続略日本紀』の改訳は、前半の『日本書紀』を基礎に、後半の『続日本紀』『続略日本紀』を接続しつつ、時代の流れを反映した内容に変更を行った。これにより、当時における日本史の学術的な基礎が築かれた。
<table>
<thead>
<tr>
<th>未分類</th>
<th>1冊</th>
<th>158.5m</th>
<th>電気機関</th>
<th>1冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>34.4m</td>
<td>官員訓令簿</td>
<td>1冊</td>
<td>159.5m</td>
<td>第九次地方教員再検査令</td>
</tr>
<tr>
<td>35.5m</td>
<td>月度職員表簿</td>
<td>1冊</td>
<td>160.5m</td>
<td>職務書類</td>
</tr>
<tr>
<td>36.5m</td>
<td>月度職員表簿</td>
<td>1冊</td>
<td>161.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>37.5m</td>
<td>1冊</td>
<td>162.5m</td>
<td>電気機関</td>
<td>1冊</td>
</tr>
<tr>
<td>38.5m</td>
<td>1冊</td>
<td>163.5m</td>
<td>電気機関</td>
<td>1冊</td>
</tr>
<tr>
<td>39.5m</td>
<td>官員訓令簿</td>
<td>1冊</td>
<td>164.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>40.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>165.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>41.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>166.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>42.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>167.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>43.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>168.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>44.5m</td>
<td>電気機関</td>
<td>1冊</td>
<td>169.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>45.5m</td>
<td>電気機関</td>
<td>1冊</td>
<td>170.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>46.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>171.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>47.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>172.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>48.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>173.5m</td>
<td>電気機関</td>
</tr>
<tr>
<td>49.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>174.5m</td>
<td>拜命書類</td>
</tr>
<tr>
<td>50.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>175.5m</td>
<td>拜命書類</td>
</tr>
<tr>
<td>51.5m</td>
<td>拜命書類</td>
<td>1冊</td>
<td>176.5m</td>
<td>拜命書類</td>
</tr>
</tbody>
</table>

府県統廃合文書移管（芳賀）
<table>
<thead>
<tr>
<th>第2課 (動詞)</th>
<th>助動詞 категории</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>助動詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>助動詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第3課 (形容詞)</th>
<th>形容詞カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>形容詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>形容詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第4課 (名詞)</th>
<th>名詞カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>名詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>名詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第5課 (副詞)</th>
<th>副詞カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>副詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>副詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第6課 (接続語)</th>
<th>接続語カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>接続語</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>接続語</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第7課 (接続助詞)</th>
<th>接続助詞カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>接続助詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>接続助詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>第8課 (固有名詞)</th>
<th>固有名詞カテゴリー</th>
<th>例</th>
<th>漢字</th>
<th>仮名</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>「A」</td>
<td>固有名詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
<tr>
<td>「B」</td>
<td>固有名詞</td>
<td>例</td>
<td>漢字</td>
<td>仮名</td>
</tr>
</tbody>
</table>
### 第5課（務）

<table>
<thead>
<tr>
<th>軟著</th>
<th>首要</th>
<th>1冊</th>
<th>2冊</th>
<th>3冊</th>
<th>4冊</th>
<th>5冊</th>
<th>6冊</th>
<th>7冊</th>
<th>8冊</th>
<th>9冊</th>
<th>10冊</th>
<th>11冊</th>
<th>12冊</th>
<th>13冊</th>
<th>14冊</th>
<th>15冊</th>
<th>16冊</th>
<th>17冊</th>
<th>18冊</th>
<th>19冊</th>
<th>20冊</th>
<th>21冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>学校整備委員会</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>車票</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>車両</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>省紙</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 第6課（出納）

<table>
<thead>
<tr>
<th>軟著</th>
<th>首要</th>
<th>1冊</th>
<th>2冊</th>
<th>3冊</th>
<th>4冊</th>
<th>5冊</th>
<th>6冊</th>
<th>7冊</th>
<th>8冊</th>
<th>9冊</th>
<th>10冊</th>
<th>11冊</th>
<th>12冊</th>
<th>13冊</th>
<th>14冊</th>
<th>15冊</th>
<th>16冊</th>
<th>17冊</th>
<th>18冊</th>
<th>19冊</th>
<th>20冊</th>
<th>21冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>搬入</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>移動</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17冊</td>
<td>18冊</td>
<td>19冊</td>
<td>20冊</td>
<td>21冊</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### （別表5） 追加書類（明治9年10月引分）

<table>
<thead>
<tr>
<th>軟著</th>
<th>首要</th>
<th>1冊</th>
<th>2冊</th>
<th>3冊</th>
<th>4冊</th>
<th>5冊</th>
<th>6冊</th>
<th>7冊</th>
<th>8冊</th>
<th>9冊</th>
<th>10冊</th>
<th>11冊</th>
<th>12冊</th>
<th>13冊</th>
<th>14冊</th>
<th>15冊</th>
<th>16冊</th>
<th>17冊</th>
<th>18冊</th>
<th>19冊</th>
<th>20冊</th>
<th>21冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>車両</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16册</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11冊</td>
<td>12冊</td>
<td>13冊</td>
<td>14冊</td>
<td>15冊</td>
<td>16冊</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 第3課（給付）

<table>
<thead>
<tr>
<th>軟著</th>
<th>首要</th>
<th>1冊</th>
<th>2冊</th>
<th>3冊</th>
<th>4冊</th>
<th>5冊</th>
<th>6冊</th>
<th>7冊</th>
<th>8冊</th>
<th>9冊</th>
<th>10冊</th>
<th>11册</th>
<th>12册</th>
<th>13册</th>
<th>14册</th>
<th>15册</th>
<th>16册</th>
<th>17册</th>
<th>18册</th>
<th>19册</th>
<th>20册</th>
<th>21册</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>車両</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11册</td>
<td>12册</td>
<td>13册</td>
<td>14册</td>
<td>15册</td>
<td>16册</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11册</td>
<td>12册</td>
<td>13册</td>
<td>14册</td>
<td>15册</td>
<td>16册</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

### （別表5） 追加書類（明治9年10月引分）

<table>
<thead>
<tr>
<th>軟著</th>
<th>首要</th>
<th>1冊</th>
<th>2冊</th>
<th>3冊</th>
<th>4冊</th>
<th>5冊</th>
<th>6冊</th>
<th>7冊</th>
<th>8冊</th>
<th>9冊</th>
<th>10冊</th>
<th>11册</th>
<th>12册</th>
<th>13册</th>
<th>14册</th>
<th>15册</th>
<th>16册</th>
<th>17册</th>
<th>18册</th>
<th>19册</th>
<th>20册</th>
<th>21册</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>車両</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11册</td>
<td>12册</td>
<td>13册</td>
<td>14册</td>
<td>15册</td>
<td>16册</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>郵便</td>
<td>1冊</td>
<td>2冊</td>
<td>3冊</td>
<td>4冊</td>
<td>5冊</td>
<td>6冊</td>
<td>7冊</td>
<td>8冊</td>
<td>9冊</td>
<td>10冊</td>
<td>11册</td>
<td>12册</td>
<td>13册</td>
<td>14册</td>
<td>15册</td>
<td>16册</td>
<td>17册</td>
<td>18册</td>
<td>19册</td>
<td>20册</td>
<td>21册</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>